

### 国際ソロプチミスト 佐賀有明のみなさん

男女間における暴力防止に向けての支援を目的に、デートDV防止ハンドブックと性暴力救援センター・さが(さがmirai)のカード配布をされています。



#### CONTENTS



- 特集インタビュー  
P2-3 国際ソロプチミスト  
佐賀有明のみなさん
- P6-7 生涯学習センター  
・まなびいフェスタを開催しました

- P4-5 男女共同参画センター  
 ・「生理の貧困」って知っていますか?  
 ・女性に寄り添う『支援の輪』づくり事業
- P8 ・3/6防災講演会  
 3/21避難訓練コンサートのお知らせ  
 ・市町巡回相談のお知らせ

## 特集

Special Interview

国際ソロプチミスト  
佐賀有明のみなさん

# 女性と女兒の夢を 応援する団体です。



内閣府男女共同参画局では、「女性に対する暴力をなくす運動」として、毎年11月12日～11月25日の期間に広報・啓発活動を行っています。その期間中に、国際ソロプチミスト佐賀有明のみなさんと当センター合同で、デートDVや性暴力予防の呼びかけとして、リーフレットとカードの配布を行っています。



### Q1 どのような活動をされているのですか

私達は、国際ソロプチミスト日本南リジョン活動理念である女性と女兒の生活を向上させるという夢の実現に向け、様々なボランティア活動・支援事業に取り組み、社会福祉の向上、青少年育成、教育・文化の向上に向け日々活動しています。

世帯主として扶養責任を負っている女性に対し、【夢を生きる賞】を贈り、家族の中で主に経済的責任を負っている女性が、自分と家族の生活を向上させるために必要な技能、訓練、教育を得るための支援をしています。

また、社会貢献をしている女性に対して、【社会ボランティア賞】を贈り活動を顕彰しています。

私達はグローバルな団体なので、全世界から情報が入ってきます。そこで、女性や女兒の苦しい状況や教育の状況など常に知ることができるからこそ、DVや虐待の問題にも強い関心があり、数年前から予防と啓発のための活動を行っています。数年前までは、学校に赴きデートDVの予防教育を行っていました。

## Q2。活動を開始されたのはいつですか

活動を開始したのは、国際ソロプチミストから認証を受けた1999年9月17日です。  
今年で22年目になりました。

## Q3。当センターと一緒に活動するようになったきっかけは何ですか

私達が「DV」について講話を聞いて、DV総合対策センターの男女間における暴力防止に向けての支援という目的に共感して、協力させてもらうようになりました。

## Q4。喜びを感じるのはどのような時ですか

様々な方々を支援できることに喜びを感じます。一生懸命生きている方に巡り合うことができる喜び、多くの方たちに出会い、その方たちを応援できることがうれしく、やりがいを感じています。支援をすることで、逆にパワーをもらっています。

また、イベントなどを通じて様々な方に出会い集うことも喜びの一つです。以前はバルーンフェスタの会場で外国の方を招いたお茶会なども開催していました。その活動を通じてお茶の先生など、異業種の方にもお会いすることができ繋がりができました。

## Q5。団体の今後について...

現在の一番の悩みは、メンバーが減少傾向にあることです。私達の考えを理解し、一緒に活動をしてくれる人がひとりでも多く集まってほしいと思うと同時に、このような活動があることをもっと知ってもらい、若い人にも興味を持ってもらえるようになることを願っています。もともと、職業を持った女性という条件がありましたが、今では、それも緩やかになりました。興味を持っていただける方との活動・支援事業を行っていかれたらと考えています。

ソロプチミストの奉仕の輪が広がり、地域のため、世界平和のため、女性の地位向上のためにより良い活動ができますよう願っています。



【国際ソロプチミスト】とは  
国際ソロプチミストは、理解促進、提唱、活動を通じて、女性と女兒の生活と地位を向上させるためのグローバル・ボイスです。

# 「生理の貧困」 って知っていますか？



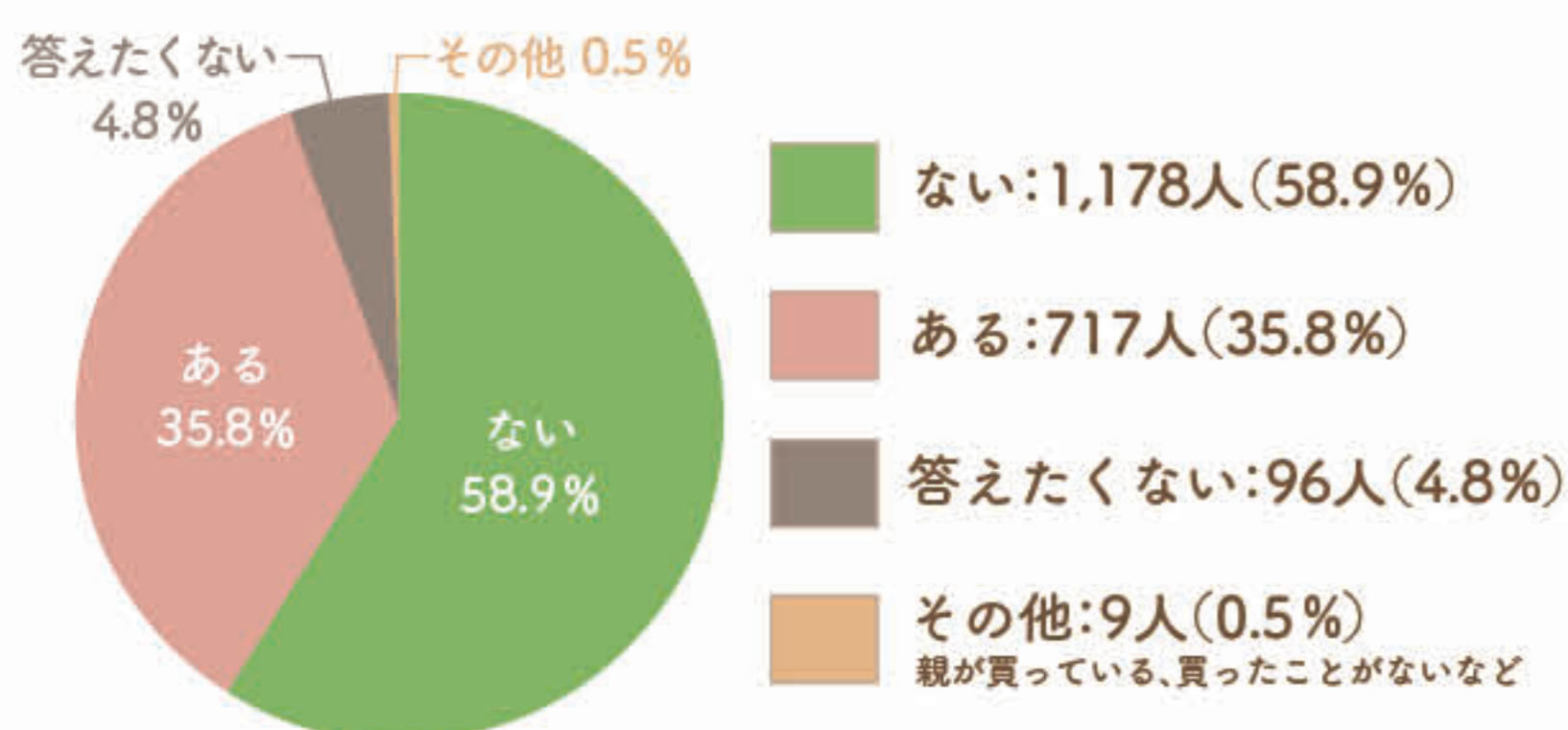
**生理の貧困とは、生理用品が入手できない、生理についての理解がない状況にあることなどを指します。**

長引くコロナ禍による不況が深刻化する中、これまでも存在していた「生理の貧困」の問題が、日本でも実態調査などによりようやく可視化され、注目されるようになりました。それまで、「日本に生理用品を買えない人なんていない」と考えられていましたが、今では「生理の貧困」は社会全体の問題として広く知られるようになりました。

## Q.1 本当に買えない人がいるのですか？

何らかの理由で生理用品の購入や入手をためらったり、購入できなかったりしたことがあると答えた人が2,000人中717人(35.8%)でした。

### 生理用品の購入・入手を ためらったことがある？



### ためらった理由は？

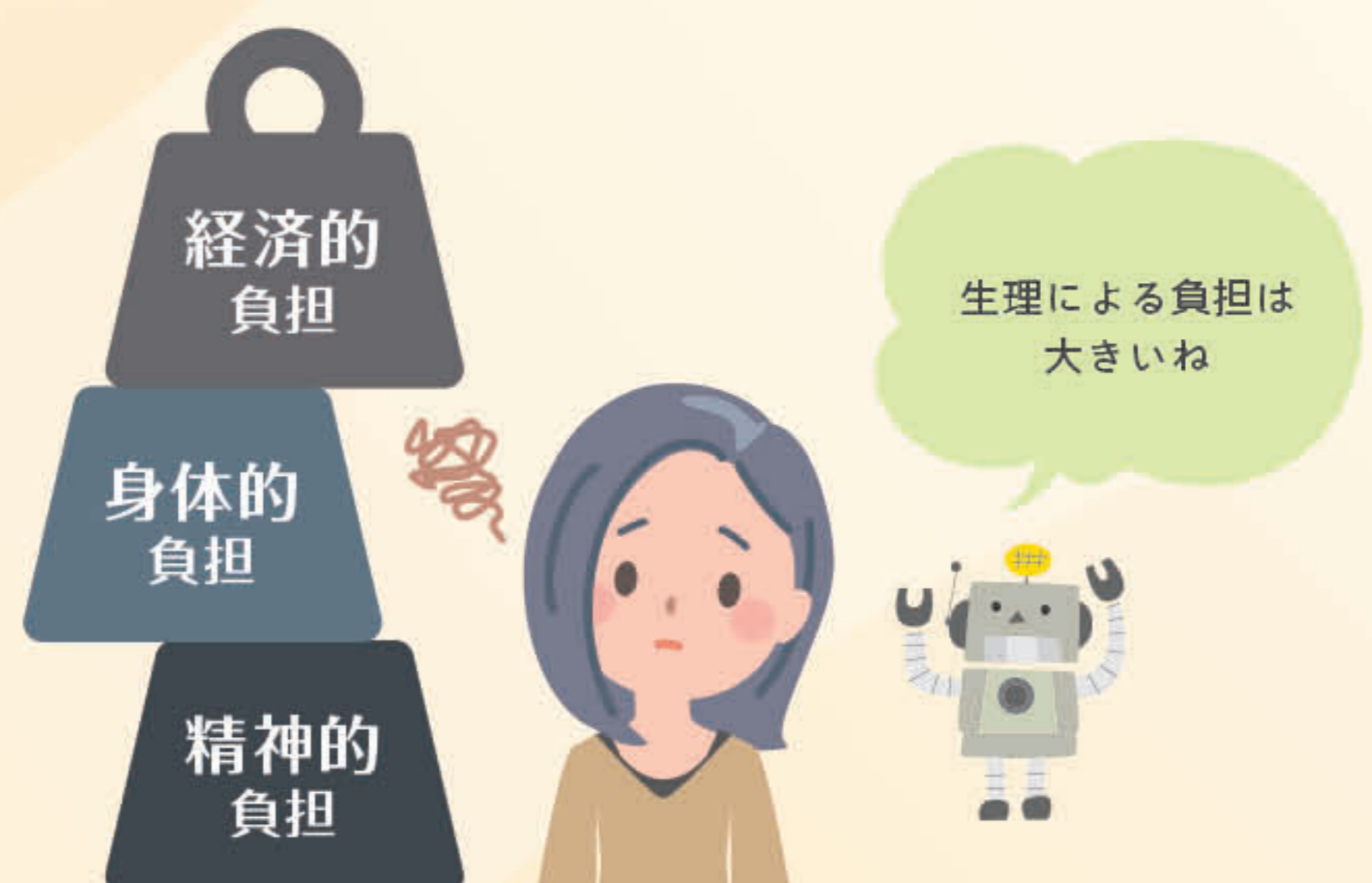


公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 2021年4月「日本のユース女性の生理をめぐる意識調査結果」から。  
15歳以上24歳までの女性2,000人が対象。  
[https://www.plan-international.jp/news/advocacy/20210413\\_28138/](https://www.plan-international.jp/news/advocacy/20210413_28138/)

## Q.2 「生理の貧困」を経済的な問題と捉える人は多いですが、それだけでしょうか？

「生理の貧困」は生理用品が買えないなどの経済的理由だけで起こっている問題と誤解されてしまいますが要因は様々です。子どもが親に相談しづらいなどといった虐待やネグレクト、生理をタブー視する社会的偏見など多くの深刻な問題があります。

そして「生理の貧困」は、正しい知識や情報を得られないなどといった理解や教育の貧困でもあります。生理用品が入手できないことや、生理についての理解がない状況は、快適な生活ができないとか、苦痛を味わうというだけではありません。自信を持って行動できなかったり、学びや仕事、社会参画の機会が奪われたり、社会としての損失にもつながります。



### Q.3 国や行政の動きにはどんな取り組みがあるのでしょうか？

2021年6月に策定された「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」では、「生理の貧困」への支援に関する項目が盛り込まれました。

政府は新型コロナウイルス対策支援の「地域女性活躍推進交付金(内閣府)」のうち、女性に寄り添った相談支援などに必要な経費として生理用品の無料配布も用途に加えました。その後、自治体や学校などで生理用品の無料配布をする動きが相次いでいます。

### Q.4 私たちにできることは？

まずは、「生理の貧困」を知ること。そして、この問題を生理用品を必要とする人だけの問題にせず、社会全体で誰もが生きやすい社会をどうすれば作れるかを考えながら取り組むという意識を持つこと。「生理の貧困」は意識を向けるだけでも、解決への大きな一歩となります。

#### 知る

生理の仕組みや「生理の貧困」があるということを理解する

#### 調べる

気になったことを調べる  
(具体例、体験談、支援…)

#### 話す

仲の良い人と生理について話してみる  
自分の地域の取り組みについて話してみる

#### 考える 行動する

自分ができるとは何か考える  
それを実行してみる

生理用品へのアクセスは、一人ひとりの健康と尊厳にかかわる権利の問題であり、社会で安心して生活し、自己実現するために必要不可欠なものともいえます。「生理の貧困」の問題が、当事者だけでなく、家庭や職場、政治など、さまざまな場所におけるジェンダー平等\*を考え、改善するきっかけになればと考えられています。

\*「ジェンダー平等」とは、性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味しています。男性と女性は身体のつくりは違っていても平等です。



生理用品は自分の身体を守るための必需品です

生理は、生理現象であって決して恥ずかしいことではないよ

令和3年度

## 女性に寄り添う『支援の輪』づくり事業

### 「女性のためのほっとカフェ」

アバンセではコロナ禍でさまざまな不安を抱える女性を対象に、安心して相談交流できる場として、NPO団体等が運営する「女性のためのほっとカフェ」を2月まで県内各所で月に1回開催しています。

社会福祉士による相談や生理用品の配布、公益社団法人Civic Force(緊急即応チーム)の協賛で生活用品等の配布も行っています。



生理用品を配布しています



生活用品を配布しています

#### 参加者の声

- なかなか困っていると  
言い出せなかった。
- 困っているのは自分だけじゃないから我慢すればいいと思っていた。
- だれかとおしゃべりするだけで、リラックスできた。
- ほっとカフェみたいな、おしゃべりできる場所がほしい。

【問い合わせ先】

佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ) TEL:0952-26-0011



2021  
10/10  
日

# まなびいフェスタを開催しました!

公募で集った実行委員会のメンバーが中心となり、企画や運営を行うまなびいフェスタ。

コロナ禍で自粛・自制が長期化する中、「今できることをできるカタチで県民の皆さんに学びや体験の場を!」という熱い想いをを持った5名のメンバーが集まりました。

6月から何度も委員会を重ね「どんなテーマのフェスタにする?」「参加者に楽しんでもらえるにはどんな内容がいいかな?」など、みんなでアイデアを出し合い、その結果、メンバーの想いがこもった20余りのイベントを実施することができました。

フェスタをふり返って、実行委員の想いやフェスタの様子をご紹介します。

## Pick up 実行委員それぞれのアイデアから生まれた一押しイベントを紹介!

プラネタリウムが見れたらいいね!



中谷さん

### やってみてどうだった?

ホールステージに7mのドームが出現して、インパクト大でした! 満天の星空に目をキラキラさせながら「わ〜」と歓声をあげる子ども達。非日常の癒しの空間で、星や天体を学びながら親子で一緒に楽しめるイベントができて良かったです。

### ドームの中で上映するプラネタリウムを実施



### 出展者と参加者が交流するバイク展示を実施

車やバイクなどのツールで子どもと大人が会話できる機会をつくれませんか〜



毛利さん

### やってみてどうだった?

子ども達がうれしそうにバイクに乗って出展者と話したり、家族に写真を撮ってもらったりしている姿を見て、実現できてよかったと思いました。車やバイクなどの乗り物に興味を持つきっかけになったらうれしいです。



### 劇やジャグリングショーを実施

音楽やダンス、お芝居などがあるとワクワクできそう!



西村さん

### やってみてどうだった?

舞台芸術は憧れに出会える場所。今回の出演者達も、きっと「あの人のように舞台に立ちたい」という希望の光に出会い、この日の舞台に立っていると思います。そんな憧れに出会える舞台を実現できてうれしいです。



### 「やさしさ」に気付くスタンプラリーイベントを実施

みんなが住みやすいまちになるように、困っている人のお手伝いができる、やさしい気持ちを育みたいな!



委員長 内田さん

### やってみてどうだった?

子育てをされている方や車いすユーザーなど、困っている人の気持ちに寄り添い、参加者自身が何ができるのかを考え、気づく機会となったようです。



楽しく遊びながらSDGs(持続可能な開発目標)に触れられたらいいな〜



副委員長 木原さん

### SDGsに関する紙芝居やゲーム、展示などを実施



### SDGsのクイズラリーを実施



### やってみてどうだった?

大学生やNPOによるゴミ分別ゲームや野菜あてクイズ、紙芝居などで、楽しみながらSDGsを身近に感じてもらえて良かったです。

## Pick up フェスタの様子!



今年のテーマは…  
見つけよう！



## 「みらい」「えがお」「きずな」「つづく」

フェスタでのさまざまな体験や学びを通して、持続可能な社会や共生社会(ユニバーサル社会)などの新たな価値観に触れる機会や、人と人との出会いや笑顔がうまれる場にしたい。そんな思いを4つ葉のクローバーのロゴマークに込めました。

ライブ配信  
をしました！



Facebook



Instagram

### Q.1 ▶ 実行委員に応募したきっかけは？

佐賀市民活動プラザから届くメールマガジンで「まなびいフェスタ」実行委員の募集を知り、「面白そうだな～」と興味を持ちました。でも、これまで障がい者に特化したイベント以外の実行委員の経験をしたことがなかったので、申し込むか迷っていました。そんなとき、副委員長の木原さんから「よかったら一緒に応募してみない？」と声を掛けてもらい、良いタイミングだと思って申し込みました。一人で参加するには結構勇気があるけれど、知っている人と一緒だったら、安心感がありますよね。誘ってもらったことでやってみたいという気持ちを後押ししてもらい、チャレンジすることができました。

～フェスタをふり返って～  
実行委員長に  
インタビュー！



内田 勝也さん(〇〇な障がい者の会 会長)

### Q.2 ▶ 実行委員会では？

最初は、フェスタの企画や運営の仕方など分からず、どういうカタチで貢献できるかな、と思っていました。ですが、今回の実行委員のメンバーは年齢層も幅広く、これまでの経験や活動をもとに、様々な視点からアイデアを出し合え、回を重ねるうちにお互いの想いをカタチにすることができました。一緒につくりあげていくことの楽しさや素晴らしさを改めて感じています。

### Q.3 ▶ 実際に開催してどうでしたか？

前日の準備から、ボランティアとして参加してくれた学生さん達と一緒に作りあげたことは、貴重で楽しい体験でした。そして当日は、各会場で参加者の笑顔や楽しんでいる姿を見れて嬉しかったです。

今回、「みらい えがお きずな つづく」の4つの言葉を大切な目標とし、SDGsのクイズやUD(ユニバーサルデザイン)の体験など様々な学びのあるイベントを実施しました。参加者の皆さんが学びを生活に役立て、それが未来へと続いていくきっかけとなれば嬉しいです。



参加者の感想や笑顔の写真を貼ったパネルの前でパチリ

### 最後にひとこと

みんなでアイデアを出し合い、企画するのはすごく楽しかったです。やってみたいと思ってもなかなかその一歩を踏み出せない方も、少し勇気を出して、私を感じたこの気持ちを体感してもらえたらと思っています。あなたも、笑顔の花をまなびいフェスタで咲かせてみませんか。



# 3月はアバンセで「防災」を考えてみませんか

アバンセではアバンセホールにて「防災」に関する以下のイベントを行います。参加には**事前申込み**が必要です。



入場無料

	日付	内容
防災講演会	3月6日(日) 13:30~15:00	「防災に生かそう！気象情報」 講師：石掛貴人氏 (NHK佐賀お天気キャスター)
避難訓練 コンサート	3月21日(祝月) 14:00~16:00	ホールでの音楽鑑賞時に地震火災を想定した 避難訓練へ参加していただきます。 演奏はアルモニア管弦楽団です。

お申込みは、アバンセ管理部(TEL0952-26-0011)まで

## 「女性のための市町巡回相談」のご案内

アバンセの女性総合相談員を下記の市町に派遣しています。是非ご利用ください。

相談時間 10:00 ~ 16:00 (玄海町のみ 10:30 ~ 15:15)

会場	2月	3月	会場	2月	3月
吉野ヶ里町役場 東脊振庁舎	3日(木)	3日(木)	上峰町役場	25日(金)	25日(金)
玄海町役場	22日(火)	23日(水)	大町町総合福祉保健センター 『美郷』	4日(金)	4日(金)
江北町役場	10日(木)	10日(木)	白石町役場	9日(水)	11日(金)
太良町総合福祉保健センター 『しおさい館』	18日(金)	18日(金)	※相談日が変更になることもあります。 詳しくは各市町へお問合せください。		

## ACCESS



**P** アバンセ南出入口に屋根付身障者用駐車場(5台分)があります。

- JR佐賀駅から徒歩約10分
- 駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 開館時間：火～土 8:30～22:00  
日・祝 8:30～17:00  
休館日：毎週月曜日、12月29日～1月3日
- QRコードにより、施設の予約状況を検索できるようになりました。是非ご利用ください。

アバンセ施設予約状況

検索

QRコードはこちら



- アバンセは佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターの愛称です。
- 「アバンセ (avance)」はスペイン語で「前進」という意味です。
- 『アバンセNOW』はアバンセの今をお伝えする情報誌です。

## アバンセNOW

Vol.107 2022.2月号

- 発行・企画 / 佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)  
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11 TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591  
E-mail daihyo@avance.or.jp URL http://www.avance.or.jp/
- 編集・印刷 / 株式会社 三光 伊万里市大坪町乙4161-1 TEL0955-23-5808